

## 令和7年度 静岡県立沼津城北高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和7年4月14日（月）10時00分～11時20分
- 2 開催場所 静岡県立沼津城北高等学校 会議室
- 3 出席者  
（委員） 石川 雅典、小林 明美、鈴木 利貞、津賀 由布子、横山 仁  
  
（学校） 校長 横溝 千都生、副校長 福室 敦之、教頭 秋永 能宏  
事務長 水越 しのぶ
- 4 委嘱状交付
- 5 自己紹介
- 6 授業参観
- 7 静岡県立学校における学校運営協議会設置要綱等について
- 8 会長選出 横山 仁 様に決定
- 9 校長挨拶、令和7年度経営計画について
  - ・本年度78名が入学
  - ・生徒には、希望する学校に行ってほしいと考えている
- 10 意見交換
  - ・中学校から来ている横溝校長は、中学校から高校へのつながり具合が見えている。
  - ・やりたいことがあって、入ってくる子は少ない。
  - ・よく見て、発掘して引き上げることが大切
  - ・少人数でも価値ある3年間になるよう城北にしかない何かを。
  - ・スクールミッションとスクールポリシーにおける「学ぶ力」と「高い志」の位置をそろえた方がよい
  - ・グラデュエーション・ポリシーについて文末の表現について「身に付けます」から「身に付きます」と修正してはどうか。
  - ・PTA役員として学校にかかわる中で、先生方が生徒をよく見て良いところを伸ばしてくれていることが分かった。
  - ・少人数になってできることが増えているのではないか。
  - ・校長の話から希望する進路に導きたいという思いが伝わってくる。
  - ・行きたいところに向けて頑張れる子が育つとよい。
  - ・やりたいことを見つけて、継続する力を育てるために、習慣化や意識づけを促すことが大切。
  - ・承認される楽しさを感じると伸びていく
  - ・他校では、自分の能力を地域に貢献するカリキュラムを実施しており、生徒同士が学年を超えて誘い合って活動する姿が見られる。
  - ・横だけではなく、縦の人間関係の形成ができる
  - ・ICTの活用では、昨年度発言したことが反映されており、教育にかかわらせてもらっていると感じる事ができた。

- ・少人数を強みにして、ボランティアなどの社会的な活動を通じて勉強以外のところを伸ばしていけるとよい。
- ・学生時代の課外活動についてとても印象に残っているので、大切にしてほしい。
- ・中学校では部活動の地域移行が進んでいるが、指導者と活動場所に課題がある。
- ・沼津城北は施設が充実しているので学校開放をして活用していくことも考えられるのではないかな。

#### 11 本校の学校運営状況について

- ・沼津特別支援学校愛鷹分校との交流について
- ・令和6年度部活動結果について
- ・令和6年度進路先の状況報告

#### 12 事務連絡

- ・次回は、10～11月頃の実施を予定している
- ・6月の文化祭については案内状を送付する